

びふか

議

会

です
こんにちは

2006 / 10

第59号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



トマトジュース「太陽の水」製造風景
(美深のぞみ学園 農産加工所)

第3回定例会概要

一般質問～4議員

人権擁護委員に 田上 史氏

議員投稿～諸岡議員

私からのメッセージ 寺田 豊子さん 鈴木 隆嗣さん

健康増進(ヘルスアップ)事業の推進

9月12~14日 3日間開催

平成18年第3回定例会で提出された議案は、美深町乳幼児医療費の助成に関する条例・美深町老人医療費の助成に関する条例・重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正、平成18年度一般会計・国民健康保険特別会計・同介護保険特別会計の補正予算、季節労働者の「特例一時金」現行維持および通年雇用の促進に関する意見書が原案可決された。

乳幼児医療費の一部負担増

一部負担増

▽美深町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正

この条例は、健康保険法及び児童福祉法の一部改正に伴う北海道医療給付事業補助要綱の改正による所要の改正。

〈全員賛成〉

高額所得者の一部負担割合改正

一部負担割合改正

▽美深町老人医療費の助成に関する条例の一部改正

健康保険法及び老人保健法の一部改正に伴い北海道医療給付事業補助要綱中、老人医療給付特別対策事業の一部負担金の割合が同法に準じて改正されることによる所要の改正。

質問 一部負担金が2割から3割になる対象人員と医療費の額は。

住民生活課長

この制度の対象者は16人だが対象者で3割負担者はいない。

医療費額は状況によるもので額は今は出ない。

(質問者 今泉)

〈全員賛成〉

標準負担額の改正

▽重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

健康保険法において70歳以上の者の入院時の生活療養に係る標準負担額に関する規定を追加する改正及び児童福祉法の一部改正に伴う北海道医療給付事業補助要綱の改正による所要の改正。

〈全員賛成〉

補正予算

▽一般会計補正予算(第5号)

228万2千円を追加し、

総額42億7、759万6千円とした。

質問 新規就農者決定の審査基準と審査方法は。

産業グループ主幹 新規就農等に関する条例に基づき審査している。

新規就農者決定者の審査は農業関係機関・団体でおこなっている。

質問 新規就農者決定者の研修期間2年について短縮又は延長を検討した経過は。

産業グループ主幹 事前審査の面談で本町農業概要を説明しており、2年の技術習得実習終了後認定し、期間変更は検討していない。

質問 5月11、12日の大雨出水における排水機稼働の連絡方法は。

施設グループ主幹 国により警戒・待機水位等の決めがあり、それにより判断している。

町が確認の上で、委託業者に連絡し排水機を稼働しているが西紋排水機場は委託していない。当日は直営で18時間の稼働があった。

質問 体育館の膨張タンクの耐用年数、使用経過年数及び保守点検内容は。また、他施設の機械・公



改修される体育館のポイラー



用車等の保守点検は。教育グループ主幹 ボイラーが膨張する際、圧力調整タンクにダイヤフラムが働き調整される。昭和55年に取り付けたもので、装置内部に設置されているため点検修理は不可能。助役 各施設の機械類で大型の物は、保守点検を行い永く使用する考えでいる。小型の物は、更新時期には迷うが古い物から計画的に更新を考えている。質問 福祉バス運転委託の10月から3月分までの補正であるが夏期間の委託はどうであったか。

保健福祉グループ主幹 夏期間は機動班で運行している。

質問 冬期間も行財政改革の立場で機動班で対応がでないか。

保健福祉グループ主幹 機動班は補充なしで対応している。リハビリの時間が重複し、確実に運行するため委託で対応したい。

質問 機動班に限らず庁舎内で対応できないか。

助役 当初予算で計上するのが筋。補正について庁舎内でやり繰りなど調整してきたが、18年度の除雪は直営で行うため、今後検討したい。

なお、19年度から除雪は民間委託する。

質問 1日のリハビリ対象者は何人で、一般の乗用車では出来ないか。

保健福祉グループ主幹 一日20名。車イスの方等もいるためリフト付バスが必要。(質問者 斉藤、倉兼、諸岡、越智、藤守、南、岩崎議員)

〈全員賛成〉



ライフコーダー (新型万歩計)

▽国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

保険財政共同安定化事業で市町村国保間の平準化、財政の安定化を図るため平成18年10月から実施される。1件30万円以上の医療費は費用負担を調整。高額医療費共同事業で拠出金の算定方法が変更と国保ヘルスアップ事業を追加補正。

質問 メタボリック症候群の比率が高く保険税に影響してはいないか。他では予防に研究を加えているがその対応は。

保健福祉グループ主幹 メタボリック症候群で美深町

は生活習慣病検診を30歳から。食生活の取り組みが必要と対応しているが十分な効果が出ていない。ヘルスアップ事業は、個々の対象者に大きな事業である長野県の手段を研究し始めており取り組みたい。

質問 生活習慣病は早期に食育など計画的な対策を。保健福祉グループ主幹 ヘルスアップ事業で住民検査をモデル20名対象で、メタボリック症候群50名など対策を取り入れ、来年以降も実施する。

質問 厚生病院との連携と器具備品購入の内容は。保健福祉グループ主幹 検査は病院との連携で行ない、新型万歩計で運動強度を計る。

質問 社会体育との関わりと体育館の健康増進用施設、保健センターの施設利用は、メタボリックの英語は馴染めない。

保健福祉グループ主幹 今回、日常の生活で仕事や体を動かす運動強度と食事とでどうなのか見ていくので既存の施設利用は次の段階として連携協議し、器具の

購入で多くの住民に体験して頂くので町貸し付けの考え。用語でメタボリック(内臓脂肪)症候群と併せて使いたい。

質問 器具は自分で買い、データーを役場に提出し、指導を受ける意識付け、自分の健康管理を自覚する事業の取組みが必要では。



田上 史氏

人権擁護委員

今年11月30日の任期満了に伴い、田上史氏(66歳)を推薦することに議会の意見は「適任」と答申した。田上氏は平成12年12月より、3期目の就任。

人権擁護委員とは

人権擁護委員は、地域住民の人権が侵されないように監視したり、人権を侵された人がいた場合は、相談相手になり、適切な処置を講じ救済するため、市町村長が議会の意見を聴いて推薦し、法務大臣が委嘱することとなっている。

保健福祉グループ主幹 日常的な健康管理は、個人の事で基本的に今回の器具購入は、町の備品で一定期間貸付し、大勢の方に体験してもらおうのが目的で健康管理の機会づくりに役立てたい。

質問 保険財政共同安定化事業交付金で4、364万5千円が交付され共同安定化事業拠出金で4、357万1千円、歳入よりも歳出が少なくその差7万円程あるが内容は、今後もこの事が続くのか。

住民生活課長 今回7万4千円歳入が多いというのは、全道全体の医療費と美深町の医療費との比率から出るもので、それだけ美深町の医療費が多いと言う事。拠出金には、限度額があり美深町の医療費が上がった時、交付金として差が出る。
(質問者 倉兼、藤守、今泉議員)

〈全員賛成〉
▽介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成17年度決算剰余金1、835万8千円の繰越、介護給付金実績確定で131

万9千円追加交付され、介護給付費用庫負担金・支払基金交付金が超過交付されており1、152万円返還、繰越金差し引きで815万7千円を介護給付費準備基金に積み立てる。

決算審査特別委員会の設置

平成17年度美深町一般会計ほか6特別会計決算の認定が付託された。

委員長に越智議員、副委員長には諸岡議員が就任。審査の日程は11月13日から15日までの3日間、会場は大会議室。



美深町各会計歳入歳出決算の概要 単位 円

会計別	歳入	歳出	差引	
一般会計	4,520,587,850	4,420,974,499	99,613,351	
特別会計	国保	686,904,739	655,891,763	31,012,976
	老人	801,338,296	820,899,370	△19,561,074
	介護保険	427,462,582	409,104,873	18,357,709
	サービス	231,896,823	231,896,823	
	簡水	38,007,806	38,007,806	
下水	247,025,618	247,025,618		
合計	6,953,223,714	6,823,800,752	129,422,962	
水道	収益的	96,411,538	80,534,366	15,877,172
	資本的	9,097,186	28,406,245	△19,309,059
道	※ 不足額19,309,059円は、当年度消費税等資本的収支調整額136,532円、過年度損益勘定留保資金19,172,527円で補てんした。			



行政の経過状況を提供すべし

8月22日、北海道第二水産ビルで開催された全道町村議長会主催の議会広報研修会に参加し、和田雅之氏(広報プランナー)による「いま、社会情勢の急激な変化の中で」テーマの講演を聞いた。

ニュースとはあらゆる分野の関心事の中で、最大多数の読者の最大関心事であること。

また、遠い過去より近い過去、遠い未来より近い未来の方が、接近度が高いことなど2・3の事例を示しながらの内容であった。

行政広報は結果を発信するが、特に議会広報は経過状況の情報を提供するもので、紙面配列は見やすく、親しみやすくわかりやすくする必要等が強調された。

議会を傍聴してみませんか

- ・ 決算特別委員会11月13日から
- ・ 第4回定例会12月中旬

それぞれ開催されます

請 願 意 見 書

請 願 採 択

▽季節労働者の「特例一時金」現行維持および通年雇用の促進に関する請願者 美深地区連合会 会長 大塚智史 紹介議員 小田中道雄

意見書を提出

▽季節労働者の「特例一時金」現行維持および通年雇用の促進に関する意見書

積雪寒冷という北海道特

有の気象条件によって、冬期に失業を余儀なくされる季節労働者は、13万5千人を数えている。冬期における生産活動の現象に起因して毎年離職するものであり、季節労働者の安定および、通年雇用化促進のための対策を北海道全体として進めつつあります。

行政改革の一環として雇用保険制度の見直しが労働政策審議会において論議されており、季節労働者の「特例一時金」については、循環的給付を理由に廃止する等の検討がされている。

いまだ多くの季節労働者が存在している北海道の実情と、道内における各界の施策努力をかんがみるものとはなっておらず、「特例一時金」の廃止などは多くの季節労働者の生活をより不安にするばかりでなく、事業主をはじめ地域経済への大きな影響が懸念されることとあります。

また、季節労働者の通年

雇用促進を命題として、平成19年度より国の新規施策として「通年雇用促進支援事業(仮称)」の実施が予定されています。

しかし季節労働者の冬期失業の実情を踏まえたとき、新たな冬期雇用の拡充を通じ通年雇用に向けた移行を促進させる事業として、北海道、市町村、地域の努力はもちろん国の責任による事業成功が不可欠であります。

したがって次の実現を強く求めます。

1、季節労働者の「特例一時金」存続および現行制度の維持。

2、通年雇用に移行できない労働者に対する新たな冬期雇用の確保。

提出者 今泉議員

賛成者 村山、宮岡、林、南議員

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

議員投稿

6月8日道・議長会総会で議員15年以上の自治功労者の表彰を倉兼議員と共に受けました。

皆様の温かいご支援のなか議会活動に精進できたこと感謝いたし心からのお礼を申し上げます、ありがとうございます。



自主・自立に

皆様の熱意を

いま、自主・自立を選択した美深町、地域はいま分権型社会に対応することも要求されていて、財政的に厳しいなかの行政運営には、できる限りスリム化し経費を節減し、効率の良い地域づくりを進めることが重要。

幸い、町長は独創的な発想のなかで総合計画に取り組んでいると答えている。

自然環境と調和した持続可能な農業は、基幹産業として魅力あり林業は京都市定書で地球温暖化対策として森・林づくりを推奨している。

諸 岡 議 員

旧天塩川木材所有林跡地での整備で将来に基幹産業として林業も期待される。

自主性・自立性が高まるには地方自治の担い手の地域住民の方々の熱意と努力、知恵と創意工夫によることが大きい。

質 問



倉 兼 議員

質問事項

- 1 大課グループ制の検証について
- 2 広域医療体制の確立について
- 3 団塊世代の農業参入対策と農業基本構想について

行政機構の検証は

質問 行政改革の一環として、6課を3課にした大課グループ制になって、職員への対応に疑問を感じる事がある、機構について検証はしているのか。

事務の平準化は、事無かれ姿勢であったり、町民や職員の意見を受け入れ難くしてはいないか。
また、住民の意見や議会提言等の課題検討・処理にはスピード化が必要。

町民のため積極的に

町長 大課グループ制は、業務ごとに主担当・副担当を置き業務命令は、課長が行うとする簡素な組織体制。

町民の意見や地域担当員の情報は、的確な取組みが出来るよう政策会議で議論することを確認しているが、大事な事は職員間の意思疎通であり、さらに資質向上は必須事項で職員研修も推進して行く。

議会提言の地球温暖化対策・公共交通システム・食

育計画の検討は、助役中心に進めている。

どうなる地域医療

質問 介護保険制度や医療保険制度の改正は、高齢化が進む地域に、深刻な事態を招く状況にある。

厚生病院を含む赤字の自治体運営の病院再編話も報道されたが、美深厚生病院の置かれる状況は。
また、転院問題等が発生した時の相談場所は。



菅野 議員

質問事項

- 1 スポーツ振興対策と対応について
- 2 駅裏天木跡地利用計画の今後の対応と方向性は

自立計画を聞き判断

町長 制度改正で厚生病院を含め地域病院は、大変難しい問題に直面している。
美深厚生病院については、厚生連の自立の計画を聞き判断し、議会にも相談する。
転院問題等は、福祉の窓口で相談してほしい。

スポーツ振興対策は

質問 昨年3月に次世代育成支援活動計画が出され、わが町としては、一人一スポーツを打ち出されている。
スポーツ少年団は、同好会を除き9団体約180名の少年が加盟されている。

5、6年前よりスポーツ少年団の遠征や練習試合等にバス等の支援は全道大会を除き年3回と聞く。
20名を超える団体も5団体ぐらいあり、遠征等に父



期待される総合窓口

母・指導者に多大な負担と思われるが、教育の一環として支援見直しの考えは。

特別予算措置を検討

教育長 スポーツ振興対策については、現在活用されているバスの運行費等々で総体的に間に合うと思うが、明年度に向けてこれらの実態を把握していく。

原則は3回、ただし使用していないクラブもあるため総体の中で今後検討をしていく。

般



南 議 員

質問事項

- 1 新生分譲地の完売に向けた対策は
- 2 品目横断的経営安定対策への対応と今後の美深農業の振興策について

小規模農家の対策は

質問 19年度から始まる新対策は、認定農業者を中心とした担い手と、過去の生産実績に基づくものであるが、小規模農家、高齢農家などの対策要件を満たさない農業者をいかに守るのか。

町長 現在、町内の農家戸数245戸、内認定農家は129戸、その中で対策管理要件を満たす農家は77戸でそれ以外の対象にならない農家については、地域担い手育成総合支援協議会のなかで聞き取り調査をして集落営農組織づくりにむけて進めていきたい。

新制度をいかに活用するか、農家・農協・行政が一体となって考えていかなければならない。

再質問 我が町の農業は新対策だけでは安定した農業経営が難しいことも想定されるが、今後の問題点と農業振興策を伺う。



活動を始めた総合型地域スポーツクラブ

今後の課題は

担い手対策

町長 まずは品目横断的経営安定対策にいかに取り掛かるか、そしてこの対策に乗れない農家をどうするか課題。

今年から農協でハウス野菜施設事業を進めており、野菜を含めた農業経営を充分検討していく必要がある。これらの補助については継続して町も協力していく。今後の課題は高齢化に伴う

また、全道大会や突発的な事態においては特別な予算措置等を検討していきたい。

天木跡地、

今後の計画は

質問 天木跡地については13年度から着工され、現在住宅・道路改修・新設等が着々進められている。

この計画は中心市街地活性化のエリアの中で進められ、当初は駅前道路と歩道橋の話もあり、現在は取り止めになっているが、年寄

りが安心して暮らすには必要と思うが。

歩道橋は

話し合いが必要

町長 当初の計画は交通のアクセスをとらえ、歩道橋を取り入れる経過もあったが、今は中心市街地がどのように進んでいくか、またJRとの関連もあるため線路を挟んでの話し合いを進め、行き来し易い整備をする時代が来ると思う。

担い手対策。

再々質問

生産形態が多様化しているのが町の農業を考えれば、今後は地域産業も含めた循環型の農業施策が必要ではないか。

施策研究は行政の一番の仕事、積極的に研究を。

町長 全てが行政だけでできるものではない。

農業は生産者、農協、行政、三位一体で進めたい。

基幹産業は農業であり我々も知恵を出して農業振興を図る。



多様化する生産形態

一 般 質 問



岩崎 議員

質問事項

- 1 注目される公共事業の新技术「PFI」の導入について
- 2 少子高齢化社会に対応した中心市街地活性化について

良質な公共サービスの手法は？

質問 公共事業の新技术として注目されているPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の導入について、検討の経緯と導入推進の考え方を伺う。

町長 平成11年PFI法が制定された際に検討した経緯はあるが、安くて良質な公共サービスができる環境にはないので推進の考えはない。

再質問 小中学校の改築に、その手法を取り入れる考えはないか。

町長 この制度を取り入れる具体的なものは、今のところ考えていない。

質問 中心市街地活性化の課題の重要性和、TMO凍結の状況に、先に進める具体策をどう考えるのか。

中心市街地活性化の具体策は

町長 重要性は認識しているが、5月の大店法改正でTMO構想計画がなくなり、中心市街地活性化協議会をつくりなさいということに

なったことから、関係者と話し合い、新しい協議会を作る方向で進める。

再質問 中心市街地の一角、天木跡地の荒地状態の改善と活用には、フラワーガーデンのような構想とその実現が、道が進める花と観光事業の一翼を担う観光客を呼び込む一方策ではないか。

町長 駅東の開発計画は、公営住宅用地、工場用地と緑地で、緑地をフラワーガー

デンにし観光資源として育てる構想は理解できるが、何十年とかかる事業であり、今の工場誘致の計画を優先する。

フラワーガーデンは、アイランドを中心に整備することが将来の観光施設の充実につながる。

町内施設視察研修

＝ 議員会主催 ＝

10月2日、施設整備状況の視察会を実施。各所で町担当者の説明を受けながら、路面崩壊で通行止になっていたスーパー林道美深歌登線擁壁工事箇所、現在工事中のエアリアルスキーコース造成状況、新生地区道路改良箇所、ひまわり団地公営住宅新築工事状況の視察と意見交換を行った。



復旧したスーパー林道

その際、議会としてはじめて全員で函岳の山頂にも立ち、観光立地の話題で話の輪が広がっていた。

スキー場では、威圧感を与えるジャンプ台とエアリアルスキーの振興策に責務の重さを感じた。

公住の工事現場では残された福祉目的の公住を目にし、判断の甘さに反省の声。

10年ぶりの収穫祭に歓喜。



新設中の駅裏道路



活性化待たれる駅前通

第3回 臨時会

平成18年度第3回臨時議会は、8月18日開かれ、専決処分600万円、補正予算第4号 4,644万1千円を可決した。

今回の補正は交付税の決定により当初予算で実行できなかった投資的経費を重点的に計画し町経済の活性化対策とした。

補正予算

▽一般会計補正予算(第3号・専決処分)

600万円を追加し総額42億2,887万3千円とした。

美深温泉のボイラーに亀裂が生じ、修理不能となったため更新。

質問 専決処分にした理由は、また工事請負とあるが業者選考方法は。

助役 繁忙期に入るため短時間での対応が必要となった。

産業施設課長 指名入札で4社の競争入札とした。
(質問者 岩崎・林・斉藤議員)

〈承認〉

専決処分とは
議会を開く時間がないとき町長の判断で事業決裁をすることができる。

▽一般会計補正予算(第4号)

4,644万1千円を追加し総額42億7,531万

4千円とした。

(補正の主な事業)

- ・道路復旧工事
- ・しらかば団地5号道路整備工事
- ・仁宇布2号道路改良工事
- ・南団地木部塗装工事
- ・公営住宅改修工事

質問 しらかば道路の改修の要因は、また町全体計画の中で改修改良の優先順位はあるか。

施設グループ主幹 昭和51年新設であるが路盤層が薄く現在の状態は良好に見えるが融雪時の凍上が激しく改良が迫られていた。

町長 緊急度を十分判断し不均衡にならないよう進める。

質問 公営住宅を改修し、グループホームとして活用したいとの計画であるが管理体制は。

助役 公営住宅法の中で許可をとり社会福祉法人に貸付できるよう進めたい。
(質問者 倉兼・菅野・藤守議員)

〈全員賛成〉



9月14日役場職員と議員控え室において学習懇談会を行う。

1件目は、今年4月1日より実施される障害者自立支援法の概要を学ぶ、障害を持つ家族にとっては大変な時代が来たと思う。

身体・知的・精神の3障害は各制度の体系で実施主体は都道府県と市町村が二分化で行っていたが自立支援法の改正に伴い市町村に実施主体を一本化し、都道府県がバックアップとなる改正、各市町村の財政はさらに厳しくなる状況だ。

2件目は、町の医療施設については、安心・予防・充実を柱で国の医療制度の改正により今年は一億二千万の赤字が出るとの説明。

さらに都市の病院は黒字になるようだが総体では約20億の赤字が見込まれる。
3件目は、社会福祉法人美深福祉会と障害者自立支援法の改正に伴っての意見交換を行う、福祉会の説明ではこの改正に伴い判定度により両施設に残れる園生は3名程度との説明。

また施設外で対応策については、20年までに新設で1棟10戸を2棟を建設をすの考えが出されたが、その内の1棟を町にお願いしたいとの話がでるなか、議員からは平成18〜20年までのシュミレーションをつくり理事会での検討が先、さらに町の責務において支援をするとの内容だがこの点についても大きな課題だとの話が飛び交う。



函岳山頂にて

閉会中の 委員会活動レポート

期間 自 平成18年7月
至 平成18年9月

総務常任委員会(藤守・倉兼・越智・岩崎)

◎調査事項

公共交通の現状について
調査内容

- 鉄道・バス・ハイヤーの年間利用者人数及び町補助金の年間支出額について
- 年間利用者数と町補助金
- ・美深駅 40、150人
- ・バス(恩根内、名寄間) 73、783人
- 補助金(高齢者バス含) 665万円
- ・バス(仁宇布、美深間) 4、788人
- 補助金 755万4千円
- ・ハイヤー 20、700人
- ・スクールバス(5路線) 委託料(5路線総額) 2、076万4千円
- 仁宇布線は現在、日曜日運休とし1便減の5往復にしている。
- デマンド交通システム等を含め地域交通システムの検討は、庁舎内に研究会を立ち上げ検討している。

調査のまとめ

町内地域間の交通体制の現状は、効率的かつ経済的に運行されているとは言



新しい交通システムは？

がたく、早期の検討が必要。また、全体の交通体制検討も、モデル地区指定(仁宇布線)で取り組む事が先決ではないか。

ハイヤーは、公共的役割が強い事から、現状をとらえ営業時間等の指導が必要である。

◎調査事項

道の合併構想と広域連携の取組みについて

調査内容

道は、新合併法に基づき「北海道合併推進協議会」を立ち上げ道民の意見集約等を経て「北海道市町村合併推進構想」が、今年7月公

表された。

示された道案は、住民の生活圏・経済圏や地勢的特性など類似市町村を土台とし、本町は名寄市を中心とする1市3町1村での合併案となっているが、当面単独でまちづくりを進める方針から、更なる行財政改革を進め、行政の広域連携を進める事としている。

社会文教常任委員会(菅野・齊藤・酒井・諸岡・小田中)

◎調査事項

- ① 17年度町税徴収の実態
- ② 税改正に伴い65歳以上18年度の課税者状況

調査内容

納期変更後、固定資産税は、16年度は2期、17年度から3期に変更になったが各期とも収納率は若干マイナス状況、16年度総収納率が99・67%、17年度は99・46%で前年度より0・2ポイントの減。

国民健康保険税も、17年度から6期に分け納付となった、各期とも前年同期より若干プラスになったが、総収納率では、16年度が98・78%。

調査のまとめ

合併は避けて通れないと認識しながらも、当面は単独を選択している現状であるが、町民に対する情報の発信が重要であり、地域担当員との連携が必要である。また、広域連携も他市町村に積極的な働きかけの姿勢を期待。

17年度は98・54%と総体では0・12%の減となった。税改正に伴い65歳以上の方は税負担が増える。

公的年金控除額の段階的減に伴い前年より18年度はプラス160人が増えることとなる。収納率向上対策として上川管内において、税滞納整理機構を立ち上げ対応をしていく。

調査のまとめ

① 税の収納については、回数を増やしても収納率は変わらない状況、さらなる税収納率の向上策が必要。
② 65歳以上の税負担は段階的に均等割り、世帯別平等割等で18年度1、300円・

19年度2、6000円・20年度4、000円と増になる状況、負担者に対しては、高齢者学級・自治会の出前講座等で説明が必要。

◎調査事項

町内環境衛生について

調査内容

都市計画内の環境を調査した結果、6件の廃屋が見受けられ、中には崩壊状況のもの、名義のわからない建物、持ち主が不明な建物等が存在している。

現在指導を受けて今年末まで整理するのが1件。さらに注意指導をしていく。

調査のまとめ

町内の環境状況については屋根・壁等の破損の恐れが多く見られ、環境等を踏まえ対策が必要。



待たれる環境整備

産業建設常任委員会(今泉・村山・宮岡・林・南)

◎調査事項

施設野菜振興について

調査内容

①事業内容 北はるか農業協同組合が平成18～19年度に導入するハウス野菜導入事業費(新規)の5分の1以内(1棟当たり上限132万円)を町費助成するもの。

②対象作物 サヤエンドウ・フルーッとマト・メロン・青ネギ・南瓜・スナップエンドウ・イチゴ。

③18年度の取組状況

農家7戸で11棟導入作物サヤエンドウ

調査のまとめ

キヌサヤに多くのカビ菌が見られ、生産農家はその除去に苦勞をしている状況にあり、来年以降も夏場の高温多湿の気候が想定される中では、技術の向上はもとより施設の充実を図り、栽培における問題点の原因究明が必要である。

また、技術指導の点においても農家間で格差がないように徹底的な指導を関係



導入されたハウス野菜

機関で行うべきである。

◎調査事項

商工会の広域連携について

調査内容

① 広域連携に伴いTMO設置計画は当面厳しい経済情勢から凍結。

② イベント主体とした商工会依存型の観光協会運営。

調査のまとめ

TMO設置計画が凍結されたことは、やむを得ないものとして理解しなければならぬが、これまでの経緯を踏まえ行政側は、市街地活性化に向けた方策等を商工会と密接な連携体制をとる必要があるのではないか。

また行政側は、本年度中に観光協会の方向性を関係機関と協議し結論を出すことになっているが、現在までの取組状況に積極性が欠

けているように見受けられるが、本町の恵まれた自然環境を生かした観光産業に取組む体制を早急に取るべきである。

美深町特別養護老人ホーム

民間移管に関する調査特別委員会

◎調査事項

美深町特別養護老人ホームの民間移管について

調査内容

去る、10月6日開催の第4回特別委員会に行政側から美深町特別養護老人ホーム等民間移管に当たっての条件として、入所者へのサービス・質の確保を向上させるため、職員及び施設等を現状体制で移管し、自立した運営に向け町は5年間の財政支援を行うほか、必要な施設の改修等は町が実施する。

また、収支計画については歳入面で18年度約2億3、000万円、19年度約23年度は約1億9、000万円の見込み、歳出は、19年度約23年度で2億1、000万円強が見込まれるため、赤字分については5年間補

填する「美深町特別養護老人ホームの運営計画」に基づく協議が法人側となされている旨の説明があった。

当委員会では既に、法人側から要望案件のあった中で運営計画案に盛り込まれていない事項の対応をどうするのか、また、5年後の総体予算で約2、000万円減が推移されているが、福祉の低迷につながるのではとの意見等が出され、更に、更に継続して調査することにしている。



移管が予定される特別養護老人ホーム

私からのひとこと



敷島自治会

鈴木隆嗣

名古屋より移住して今年の9月で早8年目となりました。現在の仕事は、パソコン製作・販売・修理をしております。
この仕事を通じて地域の皆様と仲良くなれたことが一番うれしいです。
北海道の中でも冬は特に厳しい自然環境ですが、スキーなどのスポーツが気軽に出来る今年、エアリアルジャンプ台が整ったよ

美深に住んで

うで今から雪が降るのが楽しみです。
毎朝のダイヤモンドダストも、本州から移住してきた私たちにとっては美しく
すばらしい景色に見えます。
夏は天塩川でカヌーに何回か乗る機会がありました。
大自然の中で野鳥達を見つけて静かな川を下ることが出

来るのは、美深ならではの道路が少なく民家も無いので、秋の田畑では、ジャガイモ・カボチャ・もち米・etc.。山では、山菜の茸など地元美深産のおいしい味覚をたくさん楽しんでおります。
この美深の自然をいつまでも残してほしいものです。



斑溪自治会

寺田豊子

物音ひとつしない畜舎に一頭、また一頭と牛が戻ってきて、夕陽に照らされる畜舎に明るさを感じた。
やさしくブラシを掛けながらお産の日を待ち望む。
それから3年、初めてのお産は雌の双子、仔牛の鳴き声が新鮮で嬉しくて、畜舎に行くたびに名前を呼び話しかける毎日でした。
その双子も今では親牛となって子孫を残している。十年ほど前まで同じ酪農

酪農という仕事

を営んでいたとはいえ、時の流れとともに飼養管理方法も変わり、また、初妊牛全頭が導入牛と言う事もあって、育った環境も性格もそれぞれ違い、おとなしい牛、気の荒い牛と様々、牛も一年生なら飼い主も一年生、搾乳には悪戦苦闘の毎日ですが、家族で時には仕事の話をし、時にはラジオに耳を傾けながら頑張っています。

す。体調の悪い牛がいると畜舎に行く足取りも重くなります。
飼養管理に悩み落ち込んでいる時は、獣医さんの助言と励ましをいただきます。
寄り道しながらも少しでも前進するよう頑張りたい。
今は、酪農ヘルパーを利用しながら余暇を楽しんでいます。

編集後記

新しい総理大臣誕生。汗を流した人が報われる社会を作りたいと強調。おりしも今、自立に向かって進んでいる本町の行政改革、その実績が評価され交付税が4.7%伸びた。汗を流した甲斐あり。
来月4月は統一地方選挙の年、新たな合併も取りざたされてきているが、住んでみたい、住んでよかったといえる街づくりを、皆で議論していかなければならないと思う。



編集風景